

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立都島区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課(電話:06-6208-8054)
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足と回答される方」の割合
数値目標	84.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(H30年度～令和2年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市都島区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	84.6%
年度実績	92.2%
達成率	109.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	22,797	17,186	5,611

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	17,875,000	17,875,000	0	—
	計画	17,875,000	17,875,000		
その他	実績	11,600	460	10,500	—
	計画	1,100	0		
合計	実績	17,886,600	17,875,460	10,500	—
	計画	17,876,100	17,875,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	14,155,849	14,433,519	-544,151	職員退職による減。
	計画	14,700,000	14,700,000		
物件費	実績	2,340,861	2,983,110	87,896	—
	計画	2,252,965	3,175,000		
合計	実績	16,496,710	17,416,629	-456,255	—
	計画	16,952,965	17,875,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	109.0%	B	感染症による影響がある中で、本市が定める水準を達成している。

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・LED化、事務用品等の法人一括購入。 ・指定管理者で修繕可能な場合は部品のみ購入。	B	LED化を行うなど、市費の縮減に努めた。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・消防避難訓練を複数回(1回は併設施設と合同)実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、受付時の手指消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・ラジオ体操後に区役所・郵便局等と連携し、熱中症・振込詐欺等の各種注意喚起情報の周知を図るなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・地域福祉コーディネーターと連携し、スタンプラリーを実施するなど地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規程を定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、再生品の資機材を使用するなど実効性のある取組を行っている。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

<p>(1)調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施</p> <p>(2)回答者58人(未記入者含む)</p> <p>(3)質問項目 ア 基本的な事項(年齢、居住区等) イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等</p> <p>(4)結果 ・総合満足度において、満足(やや満足)と回答される方が92.2%となっており、利用者の満足度は非常に高い。</p>
--

6 外部専門家意見

<p>1 センターの立地が南エリアにあり、北部エリアへのアウトリーチへの取組として地域の会館を活用し、出前講座を行ったことや他機関である都島区地域包括支援センターと連携し、男のための座学を実施している点は評価できることから更にその取組を強化していただきたい。</p> <p>2 センターだよりなどについて、昨年度の事業報告を踏まえ、毎年より良いものにしていこうという取組が見えた点は評価できる。</p> <p>3 事業報告書の記載方法について、口頭説明されたことは、重要な視点であったにもかかわらず、記載されていないことから報告書内においても言語化いただくとともに、C(成果と課題)にD(実施内容・結果)で記載すべき取組が記載されていることから、PDCAをそれぞれ明確に記載する意味で、Cには、成果・課題を、Aには次年度につながる改善策を記載していただきたい。</p>
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、感染対策を十分に行うことができない活動や事業は自粛する等の影響があったものの、事前に設定した目標を達成した。
市費の縮減	B	事業計画に基づき、効率的に管理運営を実施。
管理運営の履行状況	B	利用者がセンターで楽しむだけでなく、地域でも活躍していただけるような工夫も行いながら、センターの運営を行った。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	本市が期待する管理運営を行った。